

先輩、 教えてください！

永和工業（株） 永友 翔さん

「建設業は地固に残る仕事」
その喜びは実際やって
みないと分からない。



「最短で建築士資格を取得して将来独立を目指す」

奈良朱雀高等学校 建築工学科卒業後、最短で建築士資格を取得して社会に出るために、修成建設専門学校に進学しました。専門学校卒業後は、一旦施工管理会社に就職し、1年間、工事写真の撮影や現場に出て指示する等、現場所長の下で仕事を覚えしました。その後、構造設計事務所に就職して、4年間、構造図の作成をしました。将来独立してやっていきたいので、一級建築士免許を取得し、父親の会社である永和工業で経営等の技術面以外のことを学びながら、和光設計との仕事と掛け持ちしています。

「建築の仕事で一番の魅力は、自分の関わった建物が完成した時の達成感」

永和工業では、黒板・掲示板・ホワイトボードの製造および施工を中心に、学校や事務所の家具・内装工事等の営業を行っています。和光設計では、意匠設計・構造設計を行っています。主に構造設計を担当しています。

後輩のみなさんへの メッセージ

実際に建築士免許を取っている人たちの仕事も内容はバラバラで、建築といっても数多くの職種があるので、進路に迷っている人はまずは調べてやりたいことを見つけて頑張ってください！



施工管理の仕事の様子

少しずつ規模が大きい建物を担当していくので成長を実感できます。

大和ランテック（株） 吉岡 大輝さん

やりがい・達成感を感じる
仕事。ほかの職種での体験
も今後活かしていきたい。



「何事も経験。異業種での経験も将来に活かしていく。」

奈良朱雀高等学校卒業後は、社会に出た時に変わった経験があった方が楽しいのではと考えていたので、中学時代から自衛隊を目指していました。航空自衛隊で様々なスキルを身につけて、当初から入隊は3年間と決めていたので、自衛隊を辞めて現在の会社に入社しました。大和ランテック（株）は、全国で地盤補強工事を手がけている会社ですが、奈良のみ建築工事の請負をしていて、大和ハウスの家を手がけています。奈良朱雀高校卒業生も働いています。

「やって良かったと思える仕事」

大工工事の仕事をしています。床の施工から入り、天井下地施工→天井・外周壁石膏ボード施工→間仕切壁施工→造作・仕上げとなります。お客さん個人とやりとりをして、お礼を言っていたら「やって良かった」と思います。



床施工

天井下地施工

天井・外周壁石膏ボード加工

後輩のみなさんへの メッセージ

若い人が少ないので、興味があるなら大工の道も考えて欲しいです！



間仕切壁施工

造作・仕上げ

奈良県の取組

奈良県政のこれまでの歩みを確認し、「もっと良くなる奈良」を目指した「奈良県政の発展の目標と道筋」について、「奈良新『都』づくり戦略2020」をとりまとめました。

良くなる奈良をもっと良く

「奈良新『都』づくり戦略2020」

- | | | |
|----------------|---------------|------------------|
| I 栄える「都」をつくる | IV 便利な「都」をつくる | VII 豊かな「都」をつくる |
| II 賑わう「都」をつくる | V 健やかな「都」をつくる | VIII 誇らしい「都」をつくる |
| III 愉しむ「都」をつくる | VI 智恵の「都」をつくる | IX 爽やかな「都」をつくる |

賑わう「都」をつくる

～奈良が有する自然・歴史・文化資源を活用し、観光産業を振興する～

奈良県コンベンションセンター（大宮通り交流拠点施設）を活用したコンベンション誘致や地域全体のおもてなしの体制整備、賑わいの創出



愉しむ「都」をつくる

～県民が安心して快適に暮らし続けられる奈良をつくる～

大和川直轄遊水地と流域内遊水地の整備や土砂災害対策の推進



日本一災害に強い奈良の実現

便利な「都」をつくる

～県土マネジメントを推進し、効率的で便利な交通基盤をつくる～

京奈和自動車道の早期完成やリニア中央新幹線「奈良市附近」駅の早期確定など交通基盤の充実を図る



…これらの取組を進める上で、建設業で活躍される皆さんのお力添えが不可欠です！

奈良県では、毎年、「一日インターン～建設工事現場の視察・建設体験ツアー～」を実施しています。詳しくは奈良県庁建設業・契約管理課のHPをご確認いただき、ぜひご参加ください。



<http://www.pref.nara.jp/dd.aspx?menuid=4143>

ほかにも建設業に興味・関心がある方はぜひ、下記のHPも参考にいただき、建設業の道へ1歩踏み出してみてください！

技術職を目指す学生の方へ

奈良県県土マネジメント部企画管理室のHP
<http://www.pref.nara.jp/40931.htm>



建設現場へGO！ 見る、知る、働く、建設産業のJobポータル
建設産業戦略的広報推進協議会のHP
<http://genba-go.jp/>



奈良県県土マネジメント部 建設業・契約管理課

〒630-8501 奈良市登大路町30 TEL:0742-27-5429 FAX:0742-27-5313

<http://www.pref.nara.jp/4143.htm>

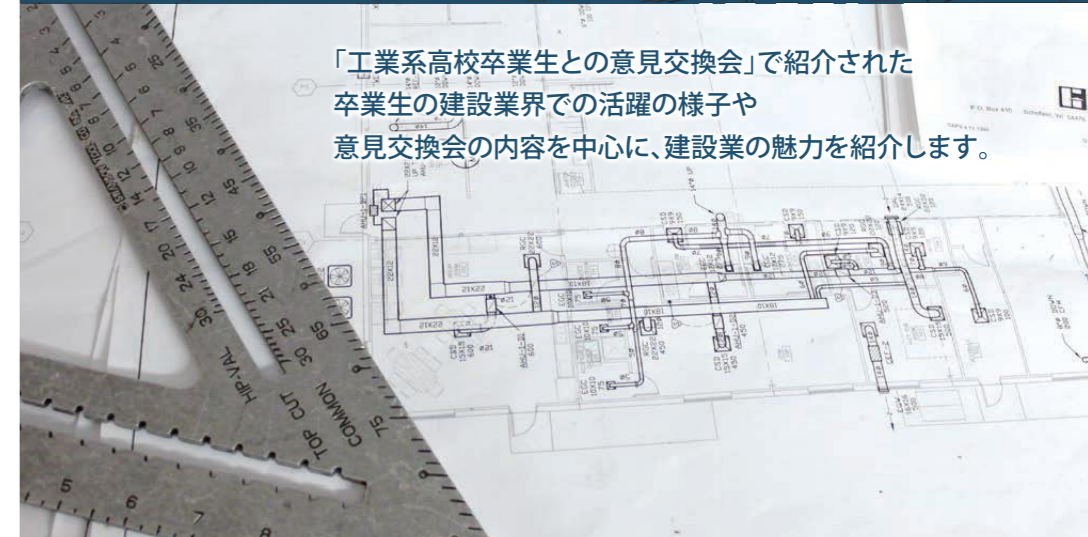


自分のやりたいことは何ですか？
どういう仕事がしたいですか？
どういう仕事に向いていると思いますか？
…先輩の体験談を聞いてみましょう。

先輩、 教えてください！

～先輩に聞く建設業界～

「工業系高校卒業生との意見交換会」で紹介された卒業生の建設業界での活躍の様子や意見交換会の内容を中心に、建設業の魅力を紹介します。



奈良朱雀高等学校建築工学科において

卒業生との意見交換会を開催しました。

建設業において、建設業就業者数はピーク時（H9年）から約3割減少。加えて、建設業就業者の高齢化も進行しており、次世代を引き継ぐ人材の確保が大きな課題となっています。

奈良県では、若手技術者の確保・育成支援事業の一環として、令和元年11月6日に奈良朱雀高等学校において、建設業界で活躍している卒業生と、将来建設業界で入職することを視野に入れている在校生（建築工学科2年生）との意見交換会を開催しました。

お二人は、建築工学科第1期生で、今回、12期生の後輩のみなさんに「卒業後の経歴」「業務内容の紹介」「やりがいと感じていること」についてプレゼンしていただきました。



奈良朱雀高等学校 建築工学科1期生
永和工業（株）永友 翔さん / 大和ランテック（株）吉岡 大輝さん

質疑応答

在校生からの質問に対して卒業生のお二人に答えていただきました。



Q：残業はどれくらい？

A：現場仕事は、基本18時まで。遅くても21時まで。事務所内仕事の場合は物量にもよるが、自分がどれだけこなせるかによって残業を減らすことができる。

Q：高校・大学・専門学校でやっておいた方がよいことは？英語も必要？

A：構造設計では数学が必要。英語は必要と感じたことはあまりない。



Q：今やりたいことは？

A：独立してやっていきたい。



当時担任だった花谷先生からの質問

Q：高校時代一番頑張ったことと、後輩へのアドバイスを。

A：部活を頑張った。社会に出たら朝早い。早寝早起きの習慣づくりは有効。アドバイスは、何でも良いので経験すること。活かそうと思えば何でも将来に活かせる。

・・・後半は少し和んだ雰囲気となり、年収や会社の上下関係に関する質問、1期生で1級建築士資格を取得した人がどれくらいいるか、個人的な進路の悩み等、卒業生と後輩の関係だから聞けるような質問・回答もありました。



花谷先生まとめ：

進路の参考に少しでもなれば。今後何かの際に先輩の話を思い出しながら色んなことに活用を。色々あるが、君たちにできないことはない。

～アンケート結果～（在校生の感想）

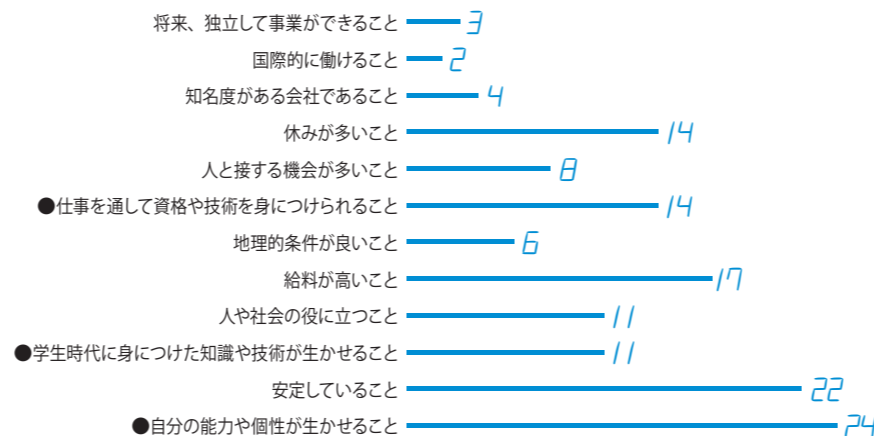
建築工学科で学んでいるみなさんにとって、一級建築士の資格をとって、将来ステップアップを目指している先輩や、一旦違う職種に進んだ先輩の体験談はとても印象的だったようです。

「色々なことを経験してみて、自分に合う職種とか、仕事のスタイルとか見つけていくことが大事だと思いました。やりたいことが見つからなかったり、迷ったりすることが多くて、親から、進路の決定を急かされたりすることがあるけど、焦らず、自分のやりたいことに優先順位をつけて、しっかり将来を見すえて行動したいと思います。」

「1番印象に残っているのは、一級建築士や国家資格を持っているだけで、現場の人との信頼を得たり、仕事に直接ではないが人間関係が築けることが、資格をとる意味にもつながると思いました。自分の進路について、大学が専門学校か迷っている所で、なにを一番に大切かを考えて、将来何をしたいか、そのためにはどの資格を持っていた方がいいか、そのようなことも考えて進路選びをしたいと思います。」

「進路で、進学するにしても就職するにしても経験することが自分のためになることが分かった。就職も、会社を転々として経験を積むことも一つの就職のやり方だということが分かった。」

「就職先を決めるときに特に重視すること」（複数回答可）



・・・アンケート結果から、
 ●自分の能力を活かせること
 ●学生時代に学んだことを活かせること
 ●新たなスキルアップができること
 への関心が高いことが伺えます。

建設業への入職を考えているみなさんへ。早期の資格取得が可能に。

資格取得・スキルアップについて

建設業界でのステップアップを目指す上で、資格の取得は欠かせないものとなります。建設業には様々な業種があり、それぞれに資格が異なります。法改正により受験資格の見直しがなされ、早い時期から資格取得ができるようになってきています。

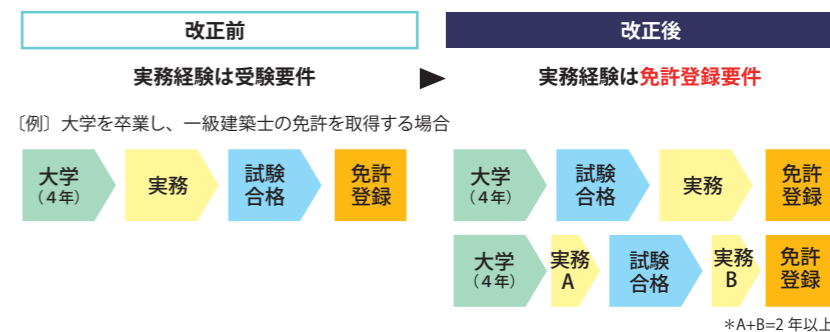
建築士	建物の設計を行うには「建築士」の資格が必要になります。
-----	-----------------------------

「建築士」は一般住宅から公共建築物まであらゆる建築物の企画・設計と工事監理を行います。

改正建築士法の施行により、下記のとおり実務経験の見直しがなされました。

改正建築士法の施行（令和2年3月1日）に伴う実務経験の対象実務の拡大について

建築士試験の受験資格の見直し



新たな受験資格要件及び免許登録要件

	受験資格要件	免許登録要件	
	学歴（卒業学校）	学歴（卒業学校）	実務経験
一級	大学・短期大学・高等専門学校	大学 短期大学（3年） 短期大学（2年）・高等専門学校	2年以上 3年以上 4年以上
	二級建築士	二級建築士	二級建築士として4年以上
	国土交通大臣が同等と認める者	国土交通大臣が同等と認める者	所定の年数以上
	建築設備士	建築設備士	建築設備士として4年以上
二級	大学・短期大学・高等専門学校・高等学校	大学・短期大学・高等専門学校 高等学校・中等教育学校	なし 2年以上
	実務経験7年*	-	7年以上
木造	都道府県知事が同等と認める者	都道府県知事が同等と認める者	所定の年数以上

*実務経験のみで二級・木造建築士試験を受験する場合は、引き続き、受験資格として、実務経験が必要。

例えば、建築に関する科目を履修して大学を卒業した者が一級建築士試験を受験する場合、大学卒業後に建築実務の経験を2年以上経ることが必要であったところ、新しい建築士制度では、
 ●大学卒業直後から実務経験を経なくても一級建築士試験を受験可能
 ●試験に合格した上で、大学卒業後の建築実務の経験が2年以上あれば一級建築士として登録することが可能となりました。

施工管理技士	現場を管理するには、「施工管理技士」の資格が必要になります。
--------	--------------------------------

「施工管理技士」は、事故防止・材料の品質チェック・工事日程など、ものを造り上げるための計画を立て、現場を管理します。

「施工管理技士」には1級・2級があり、2級学科試験について、平成28年度より17歳（高校2年生）での受験が可能となり、平成29年度より土木と建築の2種別について受験機会が年2回に拡大されています。

奈良県では、土木施工管理技術検定試験に向けた直前講習会を実施しています。詳しくは、奈良県建設業・契約管理課のHPにて <http://www.pref.nara.jp/4143.htm>